



よしだつうしん

# 吉田通信

第24号  
【2016年9月】

〒950-1475 新潟県新潟市南区戸頭1347-1 TEL:025-372-1138 FAX:025-372-1155

■■この吉田通信は私とご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一人通信です■■

## ◆まだまだできる!◆

こんにちは！お世話になります。吉運堂の吉田竹史です。吉田通信第24号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

毎月、社員の皆さんとコミュニケーションを取るために各店舗へ訪問していますが、8月下旬、鶴岡店から酒田店への移動中にお昼を取ろうと牛丼の「すき家」に入りました。いつも、牛丼の油は体に良くない、との受け売りでカレーを注文しています。

その日もカレーをいただいていたら、2人の女性客が私のテーブルの後ろに座りました。最近の牛丼屋さんは女性のお客様も珍しくなくなったんだなあ、と思いながら食べているとそのお二人は店舗スタッフの方に「アラビア…牛丼2つ」とオーダーしました。関心がないので聞き流していましたが、その注文に対してスタッフの発した言葉に耳を疑い、振り返ってしまいました。

「アラビアータ牛丼は売り切れました…」

『えー！全国チェーンのすき家で売り切れなんて起こるのー？どんな人気商品なの？』と私は心の声を発しながらメニューを見ると「期間限定」「すき家史上最も辛い牛丼」とありました。

『こ、これは食べなければならない。』と意を決し、後日、長岡市内のすき家に入り「アラビアータ牛丼」をいただきました。『辛い！』『うまい！』。トマトベースのソースがよく牛肉に合い、玉ねぎやセロリなどの野菜のうまみも感じられ、ちょっと感動しました、牛丼で！！

これは女性にも人気が出るはず。値段は490円。普通の牛丼より140円も高いですが満足できました。すき家は女性客という新しい客層を開拓しその胃袋をがっちりつかみました。また私の財布から140円余計に払わせることに成功しました。



牛丼自体は完成された商品ですが、何か加えることでさらに付加価値を高め、新しい市場を作り出すこともできるのだと教えられた気がしました。なにごと「これが最高」「これが一番」ということはなく、「まだまだやれる」「まだまだできる」と改めて気づかされました。なお私のアラビアータ牛丼はその1杯だけで期間終了しました…。

## ◆発行者コラム◆

今回もまた最後までお読みいただきまして、どうもありがとうございます！先日、河川敷でバーベキューをしてきました。おいしいお肉にお野菜、冷えたアルコールはその場で購入しましたが、バーベキューコンロにテントはレンタルでき、手ぶらで行って来ました。そういえばこの冬に久しぶりに行ったスキーも、ウェアやスキー板、手袋までスキー場でレンタルしたっけ。モノを所有しないとは買わないということ。これでは経済がしぼんでしまうわけだ…（反省）吉田竹史

■■吉田通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが090-3339-0424までご連絡をお願いいたします。■■

### 【発行者プロフィール】

名前：吉田 竹史（よしだ たけし）  
生年月日：昭和40年8月21日（O型）  
出身地：新潟県白根市（現・新潟市南区）  
経歴：都内の学校を卒業後、証券会社（水戸 & ニューヨーク）の4年間の勤務を経て吉運堂へ。

趣味：上手くないゴルフ、強くない将棋  
（NHKの将棋対局を見ることは好きです）  
家族構成：妻、娘、息子



吉田 竹史